

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e		
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている		
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>対象 判定</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したのものとなっていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合（工期や数量等の軽微な変更は除く）は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事関係書類を過不足なく作成していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。なお、社内管理基準値が県の基準値と同じ場合には評価しない。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他</p> <p style="margin-left: 20px;">理由： _____</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>		
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上 a</p> <p>評価値が80%以上90%未満 b</p> <p>評価値が80%未満 c</p>		<p>① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。</p> <p>② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。</p> <p>③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。</p> <p>④ 評価値（ ）%＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</p> <p>⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p> <p>⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。</p>				

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。		
<p>●該当する項目の口に「レ」印を記入する。</p> <p> <input type="checkbox"/> 出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="padding: 2px;">理由:</td> <td style="width: 200px;"></td> </tr> </table> </p> <p>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 試験結果の打点数等が少なく(原則3点未満)ばらつきの判断ができない工事は「c」評価とする。</p> <p>⑤ なお、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。</p> </div>								理由:	
理由:									

検査項目別運用表

(検査員)

検査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート構造物工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつき判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
	対象判定	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつき判断ができない場合		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
	理由： _____																																			
	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																												
土工事（切土、盛土、堤防等工事）	土工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつき判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
	対象判定	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 伐除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつき判断ができない場合		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
	理由： _____																																			

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																													
		対象 判定 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 { 理由： _____ }				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																															
		●判断基準		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつきの判断ができない場合	
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
	60%未満	b'	c	c	c																																

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつき判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																										
		対象判定 【工場製作関係】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鋼材の種類、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																												
		【架設関係】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }																																
						●判断基準																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	※ 試験結果の打点数等が少なく(原則3点未満)ばらつき判断ができない場合	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
60%未満	b'	c	c	c																														

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井工事を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																											
		対象判定 【共通】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の□に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の□に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく(原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
		【砂防構造物工事に適用】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート打設まで鏽、泥、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)																																	
		【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ライナープレートとの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)																																	

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																											
		対象 判定 【路床・路盤工関係】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の□に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の□に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつきの判断ができない場合		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
		【アスファルト舗装工関係】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)																																	
		【コンクリート舗装工関係】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)																																	

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	法面工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																											
		対象判定 【共通】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつきの判断ができない場合		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
		【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）																																	
		【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）																																	
		【現場打法枠工関係（プレキャスト法枠工含む）】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）																																	

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	基礎工事及び地盤改良工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつき判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																											
		対象判定 【杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てに当たり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（レ）% = 該当項目数（レ） / 評価対象項目数（レ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつき判断ができない場合		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
		【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）																																	

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
		対象判定 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> スーパーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																														
		●判断基準		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		※ 試験結果の打点数等が少なく(原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合																																		

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	塗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																													
		対象 判定 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																															
		●判断基準		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつきの判断ができない場合		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																													
	トンネル工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																													
		対象 判定 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																															
		●判断基準		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつきの判断ができない場合		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	植栽工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																													
	対象判定	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																														
		●判断基準			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつきの判断ができない場合				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																												
	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																													
	対象判定	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																														
		●判断基準			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつきの判断ができない場合				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	橋梁維持・修繕工事（橋脚補強、耐震補強、落橋防止等）	<p>●該当する項目の口に「レ」印を記入する。</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘察し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘察した提案等を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p>●判断基準</p> <p>該当項目が6項目以上…………… a</p> <p>該当項目が5項目…………… a'</p> <p>該当項目が4項目…………… b</p> <p>該当項目が3項目…………… b'</p> <p>該当項目が2項目以下…………… c</p> <p>※ 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																													
	対象判定	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地区内の地表水及び地下水を排除しドライの状態で行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 濁り等の防止に十分留意して施工している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 石礫、根株等が混入しないように適切に施工している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 表土剥ぎ取り、基盤切盛、畦畔築立、基盤整地、表土整地、道路盛土等、適切に施工している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 進入路について耕作に支障がないように施工されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 用・排水路の縦断勾配等については、ほ場面標高等を考慮して施工されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 用・排水路の施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 用・排水路の法面のとりがよい。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物側面の埋め戻しについて、適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 護岸等の根入れが図面どおり実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二次製品の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> パイプラインの地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> パイプラインが所定の埋設深さに布設されており、適切な締固めを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 暗渠排水の施工にあたり、表土と基盤土の混合を防止していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 暗渠排水の被覆材の厚さを確保し、かつ管体を十分被覆していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 暗渠排水管が所定の深さ及び勾配で布設されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の□に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の□に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																															
		●判断基準				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつきの判断ができない場合				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																													
	管水路工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																													
	対象判定	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中心線の通りがよい。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 締固めが適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管の両側及び上面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管の吊り込み、据付の際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート構造物に、きめ細かな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の□に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の□に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																															
		●判断基準				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつきの判断ができない場合				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	フィルダム、ため池工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつき判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
	対象判定	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 基礎処理及び盛り立てが適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 刃金土や堤体の締固めが適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> グラウト工が適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 排水対策を行い、施工している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 気象条件を考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立、継ぎ手部、かぶり等は工事図書等に基づき適切に施工している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの供試体が当該現場のものであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の□に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の□に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。		
		●判断基準						
					ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能※	
				50%以下	80%以下	80%を超える		
評価値		90%以上	a	a'	b	b'		
		75%以上90%未満	a'	b	b'	c		
		60%以上75%未満	b	b'	c	c		
		60%未満	b'	c	c	c		
※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつき判断ができない場合								
	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
	コンクリート二次製品水路工事（L型、ボックスカルバート、ブロック積み水路等）	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつき判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
	対象判定	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法面や製品天端の通りがよい。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 締固めが適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 護岸等の根入れが図面通り実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート構造物に、きめ細かな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 寸法誤差が少なく、表面状況のよい製品が使用されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二次製品の吊り込み、据付の際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 漏水等が発生しておらず、水路の機能を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の□に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の□に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。		
		●判断基準						
					ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能※	
				50%以下	80%以下	80%を超える		
評価値		90%以上	a	a'	b	b'		
		75%以上90%未満	a'	b	b'	c		
		60%以上75%未満	b	b'	c	c		
		60%未満	b'	c	c	c		
※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつき判断ができない場合								

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	治山工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																
		対象 判定 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締め時のバイブレーターの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満たしていることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締めを空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸出しがないよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付工の吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付工の金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付工に使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付工の圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法枠工のアンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法枠工の現場養生が設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法枠工に使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法枠工の圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 伐開・除根作業により発生した伐開木、根株、枝条等が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 掘削等により、立木等に損傷を与えず、また飛散の防止等にも注意を払って施工されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物や法面に有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の□に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の□に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																																		
							●判断基準																																	
							<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>75%以上90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%以上75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																			
		50%以下	80%以下	80%を超える																																				
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																			
							※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつきの判断ができない場合																																	

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	森林管理道工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
II. 品質		対象 判定 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレーターの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満たしていることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立、加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> スペーサーの材質及び品質が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸出しがないよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 土砂の締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 盛土材料の土質が適正である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 盛土の一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付工の吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付工の金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付工に使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付工の圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法枠工のアンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法枠工の現場養生が設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法枠工に使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法枠工の圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 伐開・除根作業により発生した伐開木、根株、枝条等が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 掘削等により、立木等に損傷を与えず、また飛散の防止等にも注意を払って施工されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物や法面に有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。		
		理由：						

●判断基準

評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※
		50%以下	80%以下	80%を超える	
	a	a'	b	b	
	a'	b	b'	b'	
	b	b'	c	c	
	b'	c	c	c	

※ 試験結果の打点数等が少なく（原則3点未満）ばらつきの判断ができない場合

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	管渠更生工事 (製管工法)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																														
	対象判定	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製管材の規格がミルシート等で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管内洗浄や劣化部除去が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 装置(機器)のキャリブレーションが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 裏込め材注入時に必要な供試体採取し、強度、フロー値等が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 裏込め材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 裏込め材の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の□に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の□に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																																
		●判断基準																																				
						<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく(原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
細別		a	a'	b	b'	c	d	e																														
防食工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																															
対象判定	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 劣化部が健全なコンクリート面が得られるまで除去されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 劣化部除去時の超高压水の水压が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 断面修復材の品質が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 断面修復工の接着強さが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 素地調整材やプライマーの品質が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防食被覆材の品質が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防食被覆工施工時の環境が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防食被覆工の接着強さが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)				① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の□に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の□に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。																																	
		●判断基準																																				
						<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なく(原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能※																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別		a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	上記以外の工事又は合併工事	<A>	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。																																		
		対象 判定	<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="width:20px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">理由:</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">理由:</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">理由:</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">理由:</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">理由:</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">理由:</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">理由:</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">理由:</td> </tr> </table>							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理由:																																			
		●判断基準	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:30%;"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <td><A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事</td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> </tr> <tr> <td> ・ 該当項目が90%以上 a ・ 該当項目が80%以上90%未満 a' ・ 該当項目が70%以上80%未満 b ・ 該当項目が60%以上70%未満 b' ・ 該当項目が60%未満 c ※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td> 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事</td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td> ① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。 </td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>								ばらつきで判断可能			<A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事	50%以下	80%以下	80%を超える	・ 該当項目が90%以上 a ・ 該当項目が80%以上90%未満 a' ・ 該当項目が70%以上80%未満 b ・ 該当項目が60%以上70%未満 b' ・ 該当項目が60%未満 c ※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	90%以上	a	a'	b	 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事	75%以上90%未満	a'	b	b'	① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。	60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c
	ばらつきで判断可能																																				
<A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
・ 該当項目が90%以上 a ・ 該当項目が80%以上90%未満 a' ・ 該当項目が70%以上80%未満 b ・ 該当項目が60%以上70%未満 b' ・ 該当項目が60%未満 c ※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	90%以上	a	a'	b																																	
 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事	75%以上90%未満	a'	b	b'																																	
① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ④ 評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。	60%以上75%未満	b	b'	c																																	
	60%未満	b'	c	c																																	

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	土工事 (盛土・築堤工事等)	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	
	土工事 (切土工事)	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	護岸・根固・水制工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	
	鋼橋工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	
	地すべり防止工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当0項目・・・d 	

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ III. 出来ばえ	舗装工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	法面工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当0項目・・・d 	
	基礎工事及び地盤改良工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ※ 地盤改良において、出来ばえが判断できない場合についてはc評価とする。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当0項目・・・d 	
	コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	塗装工事 (工場塗装を除く)	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	
	植栽工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当0項目・・・d 	

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	橋梁維持・修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当0項目・・・d 	
	電線共同溝工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当0項目・・・d 	
	ほ場整備工事 (暗渠排水工事のみ 行う場合を除く)	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 均平度が良い。 <input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の構造物等のすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 用、排水路のとおりが良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物のとおりが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当4、5項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	ほ場整備工事 (暗渠排水工事のみ 行う場合)	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 吐き出し部が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 付帯明渠等の仕上げ、通りが良い。 <input type="checkbox"/> 埋め戻しが入念に施工され、凹凸がなく仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録簿等から不可視部分の出来ばえが高く評価できる。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当0項目・・・d 	
	管水路工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 管の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 付帯コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> 付帯コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 付帯コンクリート構造物にクラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	フィルダム、ため池工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の構造物等へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 吹付（植生、コンクリート等）の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 付帯コンクリート構造物にクラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 施設の通りが良い。（排水側溝、フェンス等） <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当9項目以上・・・a 該当7、8項目・・・b 該当6項目・・・c 該当5項目以下・・・d 	
	コンクリート二次製品水路工事（L型、ボックスカルバート、ブロック積み水路等）	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の構造物等へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物等の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 施設の通りが良い。（排水側溝、フェンス等） <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当4、5項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	治山工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の天端仕上げ、端部仕上げ等がよい。 <input type="checkbox"/> 構造物にクラックが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 地山とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	森林管理道工事	<ul style="list-style-type: none"> ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 規定された法勾配、土羽勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物にクラックが無い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 地山とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当4、5項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	管渠更生工事 (製管工法)	●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 更生管の変形・浮上・不陸が無い。 <input type="checkbox"/> 更生管の施工箇所上下流の既設管とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 管口や端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 浸入水が無い。		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当0項目・・・d	
	防食工事	●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> 断面修復が平坦で、浮きやひび割れが無い。 <input type="checkbox"/> 素地調整が平坦密実仕上げられている。 <input type="checkbox"/> プライマーが均一で欠陥なく塗布されている。 <input type="checkbox"/> 塗布型防食にあつては、ピンホール試験を実施し、欠陥が無い。 <input type="checkbox"/> 防食被覆が平滑で、樹脂硬化不良が無い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	上記以外の工事又は 合併工事	●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 <input type="checkbox"/> { 理由： _____ } <input type="checkbox"/> { 理由： _____ } <input type="checkbox"/> { 理由： _____ } <input type="checkbox"/> { 理由： _____ } <input type="checkbox"/> { 理由： _____ }		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
※ 合併工事は、該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。					